

令和3年度宇都宮大学大学院教育学研究科専門職学位課程

入学試験

教育実践高度化専攻

受験科目 小論文

次の3つの設問から、2つを選択し論述しなさい。なお、解答用紙には、選択した問題が分かるように、問題番号を記しなさい。

【問題1：学校改革力の領域】

1人1台の端末環境と、高速大容量の通信ネットワーク環境を一体的に整備する「GIGAスクール構想」の実現に向けた環境整備が、現在全国の学校で進行中です。

この「GIGAスクール構想」が示された背景を述べなさい。そして、構想の実現に伴い、今後教員としてどのようなことが求められるかについて、あなたの考えを述べなさい。

【問題2：授業力の領域】

平成29年告示の小学校学習指導要領及び中学校学習指導要領において、「豊かな創造性を備え持続可能な社会の創り手」となる児童生徒の育成が示されています。この「持続可能な社会の創り手」を育てるためには、どのような指導が必要と考えますか。校種（小学校、中学校、特別支援学校等）や学年、教科等を想定し、具体的な事例を挙げながら述べなさい。

【問題3：個への対応力の領域】

「多様性を尊重する」とはどのような営みか。通常の学級における特定の児童生徒の姿を具体的に想定し、あなたの考えを述べなさい。

令和3年度宇都宮大学大学院教育学研究科専門職学位課程

第2次入学試験

教育実践高度化専攻

受験科目 小論文

次の3つの設問から、2つを選択し論述しなさい。なお、解答用紙には、選択した問題が分かるように、問題番号を記しなさい。

【問題1：学校改革力の領域】

令和2年5月15日付けで、文部科学省初等中等教育局長から「新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた学校教育活動等の実施における『学びの保障』の方向性等について（通知）」が出されました。この通知には「新型コロナウイルス感染症とともに生きていかなければならないという認識に立ちつつ、子供たちの健やかな学びを保障することとの両立を図っていくことが重要です。」とあります。

感染症対策と子供たちの学びを保障することとの両立を図るために、学級担任としてどのような取組が必要だと考えますか。校種を想定した上で、具体例を挙げながら述べなさい。

【問題2：授業力の領域】

小学校学習指導要領（平成29年告示）解説総則編では、学習の基盤となる資質・能力の一つとして、情報活用能力が次のように挙げられています。

「情報活用能力は、世の中の様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、情報及び情報技術を適切かつ効果的に活用して、問題を発見・解決したり自分の考えを形成したりしていくために必要な資質・能力である。」

情報活用能力を育成するために、どのような学習活動が考えられますか。教科等を想定し、具体的な例を挙げながら述べなさい。

【問題3：個への対応力の領域】

特別な支援が必要と思われる児童生徒が学級にいた場合、その児童生徒の居場所をつくるためにはどのような手立てが必要と考えますか。対象となる児童生徒の特徴と校種を想定した上で、その手立てについて具体的に述べなさい。